

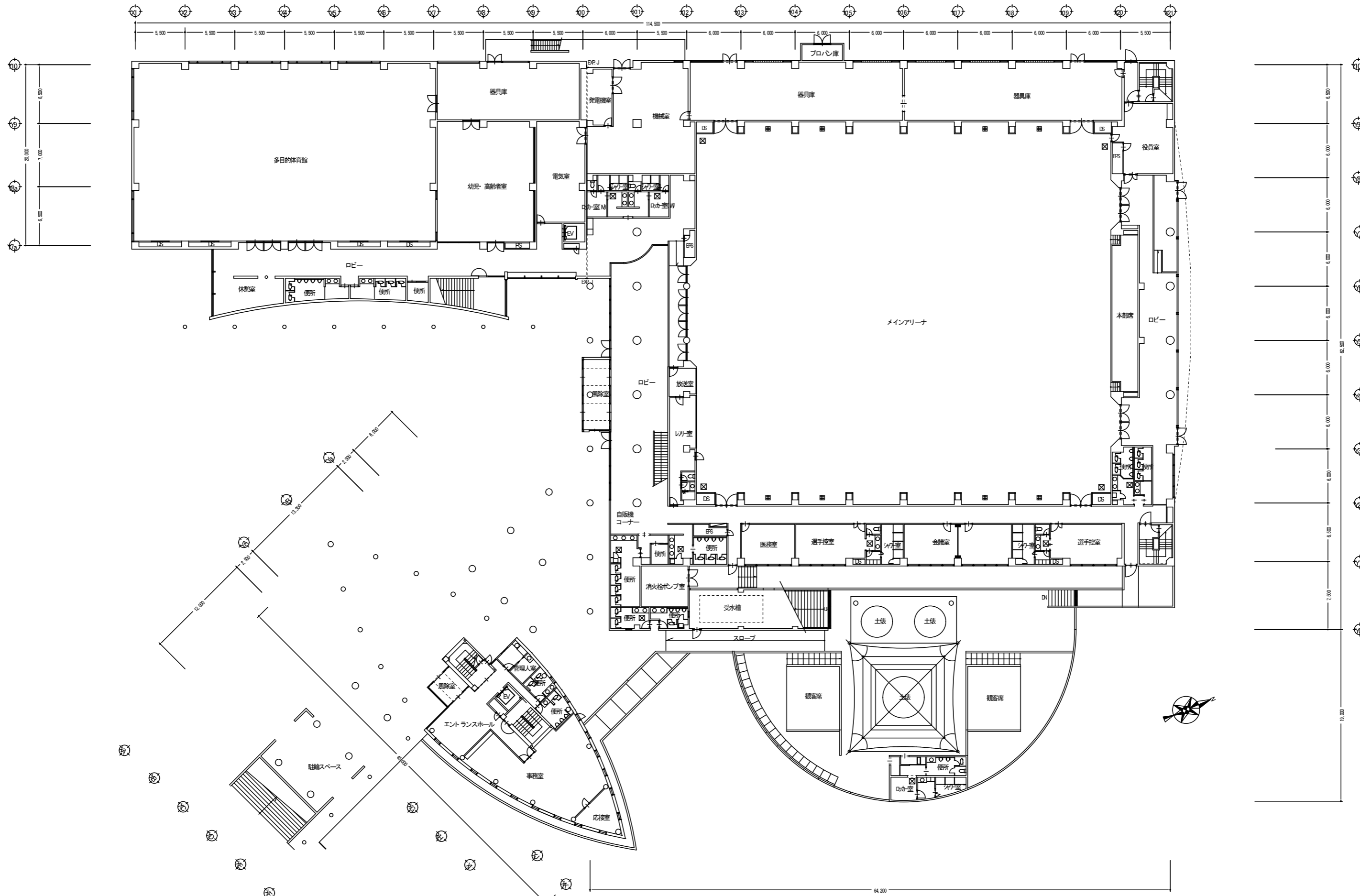
# 市民総合体育館フォーラム棟屋根改修工事 設計図面リスト

設計図面		
図面番号	図面名	縮尺
A-01	改修工事特記仕様書(1)	-
A-02	改修工事特記仕様書(2)	-
A-03	配置図・付近見取り図・建築概要	1:300(A1) 1:600(A3)
A-04	1階平面図(参考図)	1:200(A1) 1:400(A3)
A-05	2階平面図(参考図)	1:200(A1) 1:400(A3)
A-06	3階平面図(参考図)	1:200(A1) 1:400(A3)
A-07	R階平面図	1:200(A1) 1:400(A3)
A-08	南側・東側立面図	1:200(A1) 1:400(A3)
A-09	部分詳細図	1:10(A1) 1:20(A3)
A-10	仮設計画配置図(参考図)	1:300(A1) 1:600(A3)



9-1 環境配慮改修工事	<p>① 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1~9.1.6]</p> <p>石綿じん濃度測定 ・適用する・適用しない 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)</p> <table border="1"> <tr><td>測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定2</td><td></td><td>調査対象室外部付近</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定3</td><td></td><td>処理作業室内</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定4</td><td></td><td>セキュリティゾーン入口</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定5</td><td>処理作業中</td><td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)</td><td>出口吹出し風速1m/sec以下の位置</td></tr> <tr><td>測定6</td><td></td><td>処理作業室外</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定7</td><td>処理作業後 (シト養生中)</td><td>処理作業室内</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定8</td><td>処理作業後シット</td><td>処理作業室内</td><td>計点</td></tr> <tr><td>測定9</td><td>撤去後1週間以降</td><td>調査対象室外部付近</td><td>計点</td></tr> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 測定方法</p> <table border="1"> <tr><td>測定1</td><td>検じん相対濃度計 (デジタル検じん計) / パーティクルカウンター、細粒状粒子自動測定器 (リアルタイムファインモニター) 等の検じんを選定測定できる機器を用いた測定</td></tr> </table> <p>・JIS K 3850-IIに基づいた測定</p> <table border="1"> <tr><th>測定名称</th><th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th><th>試料の吸引流量 (l/min)</th><th>試料の吸引時間 (min)</th></tr> <tr><td>測定4・測定5</td><td>25</td><td>5</td><td>30</td></tr> <tr><td>測定</td><td>47</td><td>10</td><td>120</td></tr> <tr><td>測定</td><td>47</td><td>10</td><td>240</td></tr> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3.2(ア)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材の除去 除去対象範囲 図示 除去方法 破砕して除去・手ぶらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設)</p> <p>② 石綿含有成形板等の除去 除去対象範囲 図示 作業準備上の養生 ・行 (養生シート) ○行かない 除去した石綿含有成形板等の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板等 ○埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有仕上げ塗材の除去 除去対象範囲 図示 石綿含有仕上げ塗材の除去工法 ・電気グラインダー工法 (湿潤化) ・高圧洗浄工法 除去した石綿含有仕上げ塗材 (汚泥) の処理 ・埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示による</p>	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	測定2		調査対象室外部付近	計点	測定3		処理作業室内	計点	測定4		セキュリティゾーン入口	計点	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置	測定6		処理作業室外	計点	測定7	処理作業後 (シト養生中)	処理作業室内	計点	測定8	処理作業後シット	処理作業室内	計点	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部付近	計点	測定1	検じん相対濃度計 (デジタル検じん計) / パーティクルカウンター、細粒状粒子自動測定器 (リアルタイムファインモニター) 等の検じんを選定測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4・測定5	25	5	30	測定	47	10	120	測定	47	10	240	<p>9-2 環境配慮改修工事</p> <p>3. 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>断熱材仕込み工法</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> </table> <p>施工箇所 図示</p> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 (JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム) ・ A種1 ・ A種1H 厚さ (mm) 25 ・ 30 施工箇所 図示</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 (JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材) ・ ( ) 厚さ (mm) ・ 施工箇所 図示</p> <p>断熱材に直接ボードの張付けを行う場合の工法 ・ 図示による</p> <p>断熱材にせつこうボード等を張り付けパネルを使用する場合の工法 ・ 図示による</p> <p>4. 屋上緑化改修工事 [9.4.1~4]</p> <p>植栽基盤及び仕様 屋上緑化経路システム 適用する 適用しない 芝及び地被類の根付並びに根際等 ※図示 見掛け材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>性能</th></tr> <tr><td>透水・排水管等構材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (排水管を有する場合は、排水管共)</td></tr> <tr><td>透水管</td><td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。</td></tr> <tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び補え込み土を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr> <tr><td>排水層の断面方向の排水性能</td><td>24L/m<sup>2</sup>/h以上</td></tr> <tr><td>耐荷重性能</td><td>一般メンテナンス時の上部歩行に耐え、破損しないこと。</td></tr> <tr><td>排水層の許容圧縮率</td><td>3×10 N/m<sup>2</sup>の載荷重で破損、有害なひずみなど異常がないこと。(排水管を有する場合は排水管共)</td></tr> <tr><td>耐根腐</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr> <tr><td>耐根腐保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐層を保護するものであること。但し、耐根腐層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。</td></tr> </table> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> <p>かん水装置 設置する (種類、 )</p> <p>既存保水層の撤去 行 (改修標準仕様書3.2.3による) ・ 行わない</p> <p>新規した芝及び地被類の枯死等の期間 ※図示の時から1年</p> <p>5. 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~9]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による</p> <p>路床</p> <table border="1"> <tr><th>路床の材料</th><th>種類</th><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td>・ 盛土</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td><td>・ 建設現場から再生した処理土 [G]</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td>・ 凍上抑阻層</td><td>・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン</td><td>・ 切込み砂利</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ 砂</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ フィルター層</td><td>・ 砂</td><td></td><td>・ 図示</td></tr> </table> <p>路床安定処理 適用する 適用しない 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 ・ 路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメント B種 [G] フライアッシュセメント B種 生石灰 (特号・1号) 消石灰 (特号・1号) 添加量 kg (目標CBR・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理のCBR試験</p> <p>試験 砂の動点試験 行 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 行 行わない 現場CBR試験 行 行わない 路床締め度試験 行 行わない</p>	種類	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	項目	性能	透水・排水管等構材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (排水管を有する場合は、排水管共)	透水管	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び補え込み土を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の断面方向の排水性能	24L/m <sup>2</sup> /h以上	耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に耐え、破損しないこと。	排水層の許容圧縮率	3×10 N/m <sup>2</sup> の載荷重で破損、有害なひずみなど異常がないこと。(排水管を有する場合は排水管共)	耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐層を保護するものであること。但し、耐根腐層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。	路床の材料	種類	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 建設現場から再生した処理土 [G]	・ 図示	・ 凍上抑阻層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン	・ 切込み砂利	・ 図示			・ 砂	・	・ フィルター層	・ 砂		・ 図示	<p>9-3 環境配慮改修工事</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示による 路盤材料</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>種類</th></tr> <tr><td>砕石</td><td>・ クラッシュラン</td></tr> <tr><td></td><td>・ 粒度調整砕石</td></tr> <tr><td>再生材</td><td>・ 再生クラッシュラン [G]</td></tr> <tr><td></td><td>・ 再生粒度調整砕石 [G]</td></tr> <tr><td></td><td>・ クラッシュラン鉄線スラグ [G]</td></tr> <tr><td></td><td>・ 粒度調整鉄線スラグ [G]</td></tr> <tr><td></td><td>・ 水硬性粒度調整鉄線スラグ [G]</td></tr> </table> <p>舗装の構成 図示による 開閉度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行 行わない 舗装の平たん性 ※着しい不陸がないもの</p>	種類	種類	砕石	・ クラッシュラン		・ 粒度調整砕石	再生材	・ 再生クラッシュラン [G]		・ 再生粒度調整砕石 [G]		・ クラッシュラン鉄線スラグ [G]		・ 粒度調整鉄線スラグ [G]		・ 水硬性粒度調整鉄線スラグ [G]
	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																					
測定2		調査対象室外部付近	計点																																																																																																																						
測定3		処理作業室内	計点																																																																																																																						
測定4		セキュリティゾーン入口	計点																																																																																																																						
測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置																																																																																																																						
測定6		処理作業室外	計点																																																																																																																						
測定7	処理作業後 (シト養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																						
測定8	処理作業後シット	処理作業室内	計点																																																																																																																						
測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部付近	計点																																																																																																																						
測定1	検じん相対濃度計 (デジタル検じん計) / パーティクルカウンター、細粒状粒子自動測定器 (リアルタイムファインモニター) 等の検じんを選定測定できる機器を用いた測定																																																																																																																								
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																						
測定4・測定5	25	5	30																																																																																																																						
測定	47	10	120																																																																																																																						
測定	47	10	240																																																																																																																						
種類	厚さ (mm)																																																																																																																								
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・																																																																																																																								
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・																																																																																																																								
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																																																																																																								
・ フェノールフォーム断熱材	・																																																																																																																								
項目	性能																																																																																																																								
透水・排水管等構材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (排水管を有する場合は、排水管共)																																																																																																																								
透水管	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																								
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び補え込み土を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																								
排水層の断面方向の排水性能	24L/m <sup>2</sup> /h以上																																																																																																																								
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に耐え、破損しないこと。																																																																																																																								
排水層の許容圧縮率	3×10 N/m <sup>2</sup> の載荷重で破損、有害なひずみなど異常がないこと。(排水管を有する場合は排水管共)																																																																																																																								
耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																								
耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐層を保護するものであること。但し、耐根腐層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。																																																																																																																								
路床の材料	種類	材料	厚さ (mm)																																																																																																																						
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 建設現場から再生した処理土 [G]	・ 図示																																																																																																																						
・ 凍上抑阻層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン	・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																						
		・ 砂	・																																																																																																																						
・ フィルター層	・ 砂		・ 図示																																																																																																																						
種類	種類																																																																																																																								
砕石	・ クラッシュラン																																																																																																																								
	・ 粒度調整砕石																																																																																																																								
再生材	・ 再生クラッシュラン [G]																																																																																																																								
	・ 再生粒度調整砕石 [G]																																																																																																																								
	・ クラッシュラン鉄線スラグ [G]																																																																																																																								
	・ 粒度調整鉄線スラグ [G]																																																																																																																								
	・ 水硬性粒度調整鉄線スラグ [G]																																																																																																																								
2. 外断熱改修工事 [9.2.2~4]	<p>断熱材</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th></tr> <tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ ロックウール</td><td>・</td></tr> <tr><td>・ グラスウール</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </table> <p>施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※現場対象外</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>防炎性能</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 あり なし 下地面の補修 行 行わない 欠損部の改修工法 改修標準仕様書4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による 透気層の有無 あり なし (mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 外装材製造所の仕様による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 図示による</p>	種類	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	・ ロックウール	・	・ グラスウール	・	・	・	種類	防炎性能	備考	・			・			・			<p>管理建築士 承認 検閲 製図 改定番号 改定月日 改定内容</p> <p>特記</p> <p>図面内容</p> <p>縮尺 AI -</p> <p>業務番号</p> <p>図面区分 建築意匠</p> <p>図面番号 A-10 枚の内 02</p>																																																																																											
種類	厚さ (mm)																																																																																																																								
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・																																																																																																																								
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・																																																																																																																								
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																																																																																																								
・ フェノールフォーム断熱材	・																																																																																																																								
・ ロックウール	・																																																																																																																								
・ グラスウール	・																																																																																																																								
・	・																																																																																																																								
種類	防炎性能	備考																																																																																																																							
・																																																																																																																									
・																																																																																																																									
・																																																																																																																									





市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

T

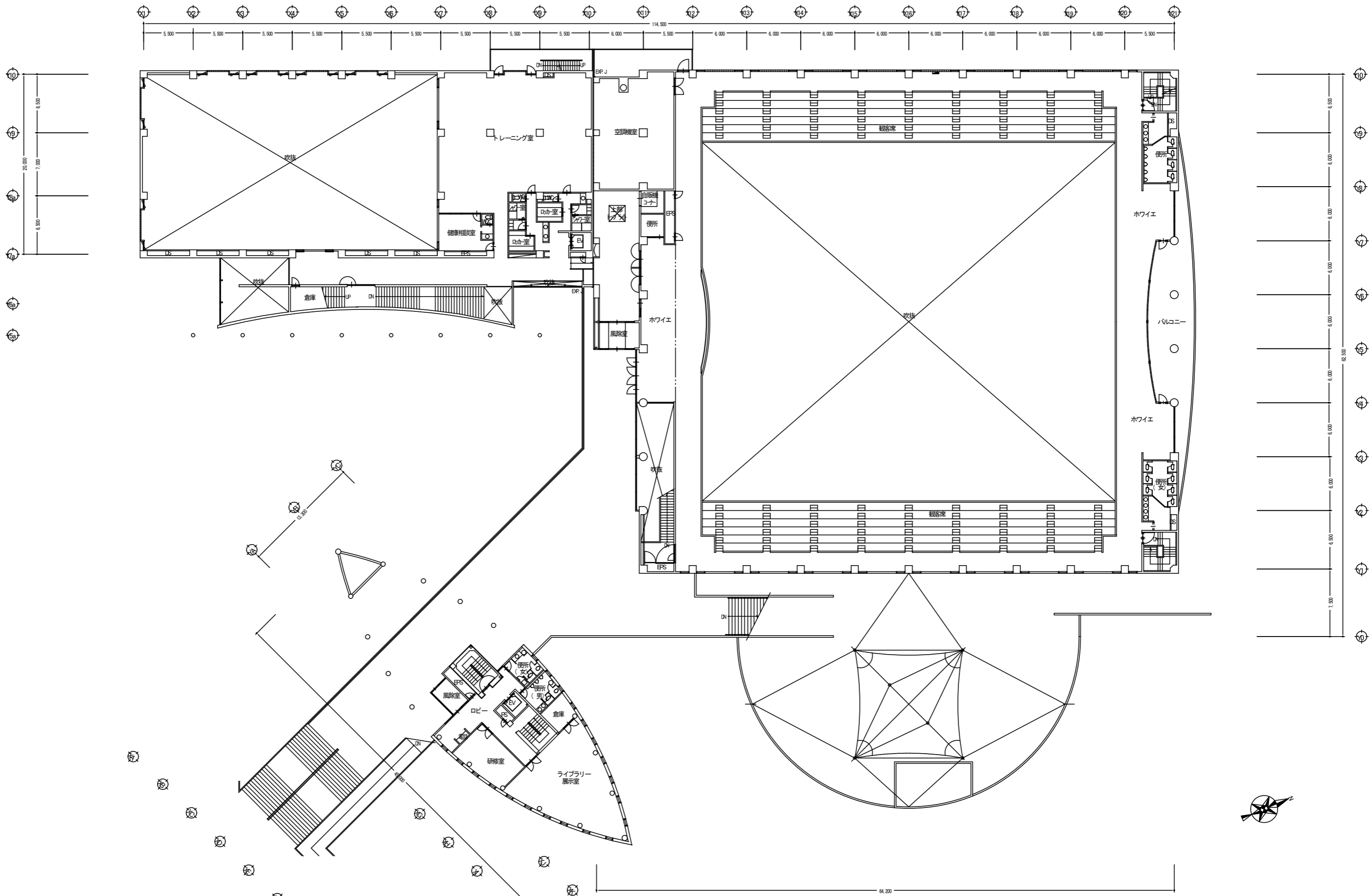
管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記

図面内容

1階平面図  
(参考図)

縮尺 A1 1:200 (A1) 1:400 (A3)	業務番号 図面区分 図面番号 A-10	建築意匠 枚の内 04
--------------------------------------	---------------------------	----------------



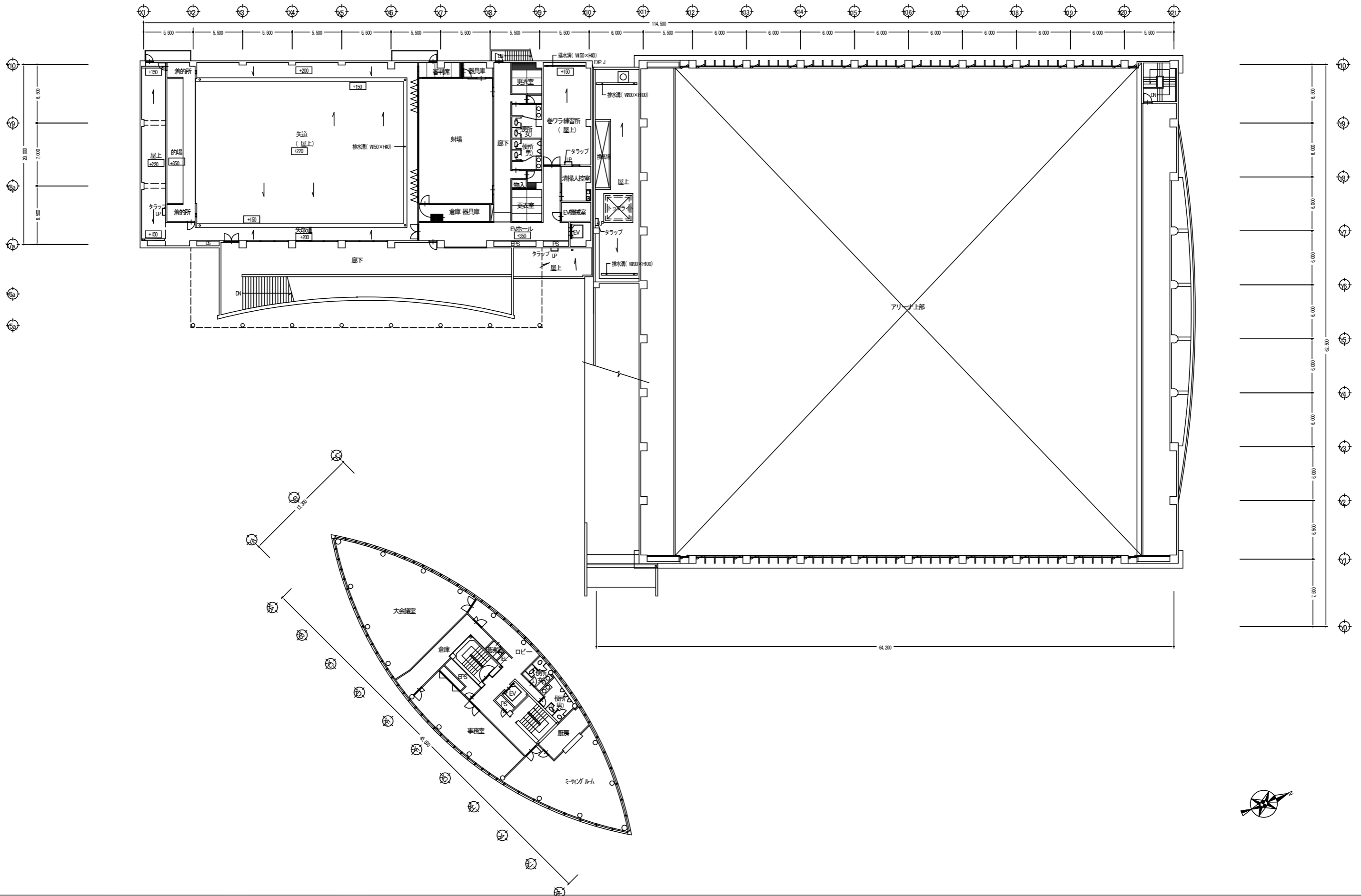
市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定月日	改定内容

特記

図面内容  
2階平面図  
(参考図)

縮尺 1:200 (A1) 1:400 (A3)	業務番号 図面区分 建築意匠 図面番号 A-10 枚の内 05
--------------------------------	---------------------------------------



市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

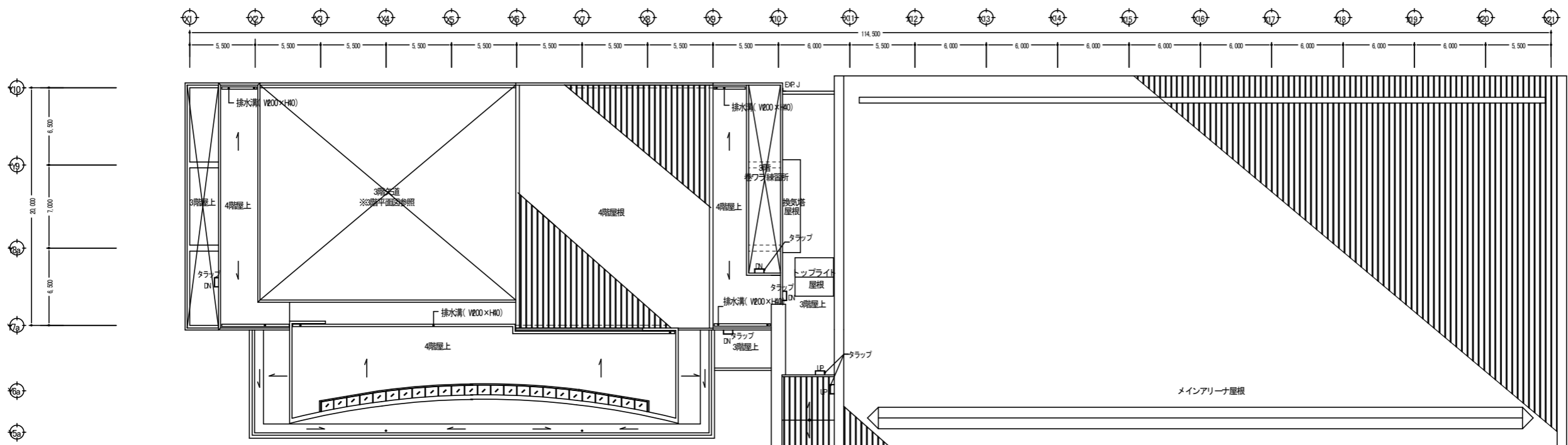
特記

図面内容

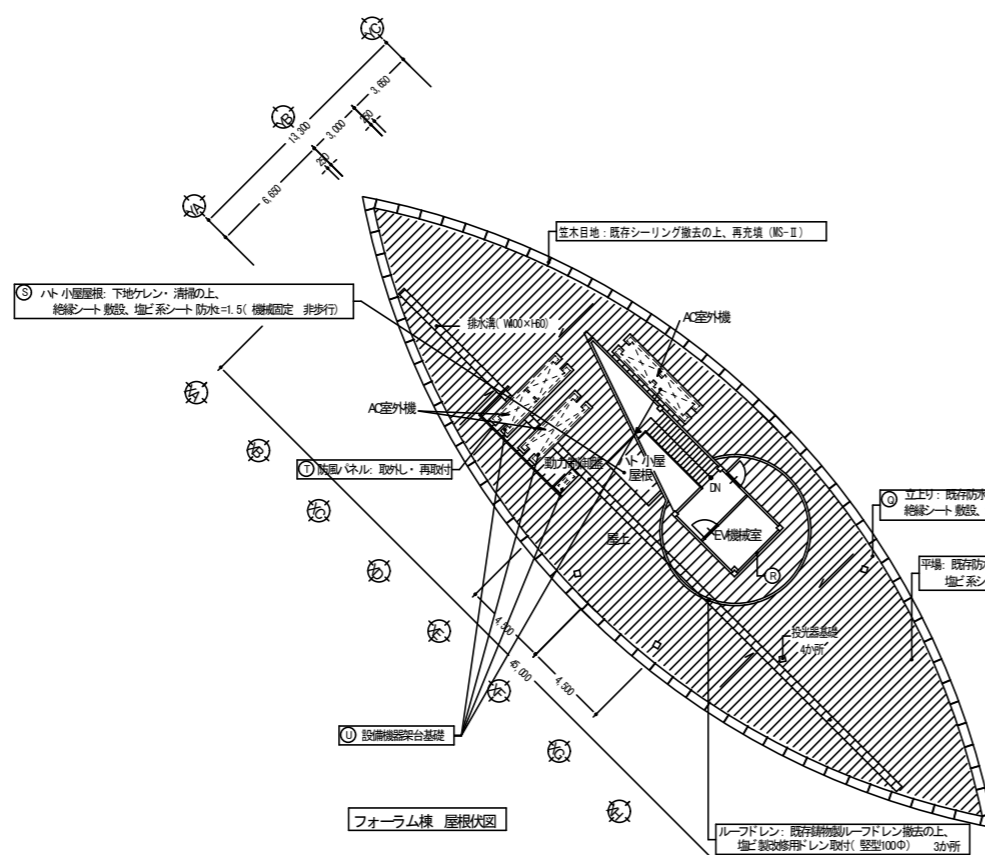
3階平面図  
(参考図)

縮尺  
A1  
: 200 (A1)  
: 400 (A3)

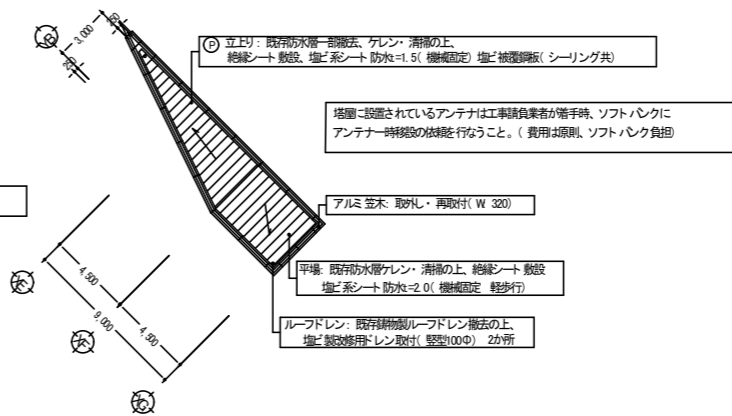
業務番号  
図面区分 建築意匠  
図面番号 A-10 枚の内 06



多目的体育館 屋根伏図



フォーラム棟 屋根伏図



フォーラム棟 塔屋根伏図

⑤ 小建屋屋根: 下地ケレン・清掃の上、  
絶縁シート敷設、塩ビ系シート防水=1.5(機械固定 非歩行)

⑥ 瓦木目地: 既存シーリング撤去の上、再充填 (MS-E)

⑦ 立上り: 既存防水層ケレン・清掃の上、  
絶縁シート敷設、塩ビ系シート防水=1.5(機械固定) 塩ビ被覆層(シーリング共)

⑧ 平場: 既存防水層ケレン・清掃の上、絶縁シート敷設  
塩ビ系シート防水=2.0(機械固定 軽歩行)

⑨ 立上り: 既存防水層一部撤去、ケレン・清掃の上、  
絶縁シート敷設、塩ビ系シート防水=1.5(機械固定) 塩ビ被覆層(シーリング共)

塔上に設置されているアンテナは工事請負業者が等手時、ソフトバンクに  
アンテナ一時移設の依頼を行なうこと。(費用は原則、ソフトバンク負担)

アルミ笠木: 取外し・再取付 (W 320)

⑩ 平場: 既存防水層ケレン・清掃の上、絶縁シート敷設  
塩ビ系シート防水=2.0(機械固定 軽歩行)

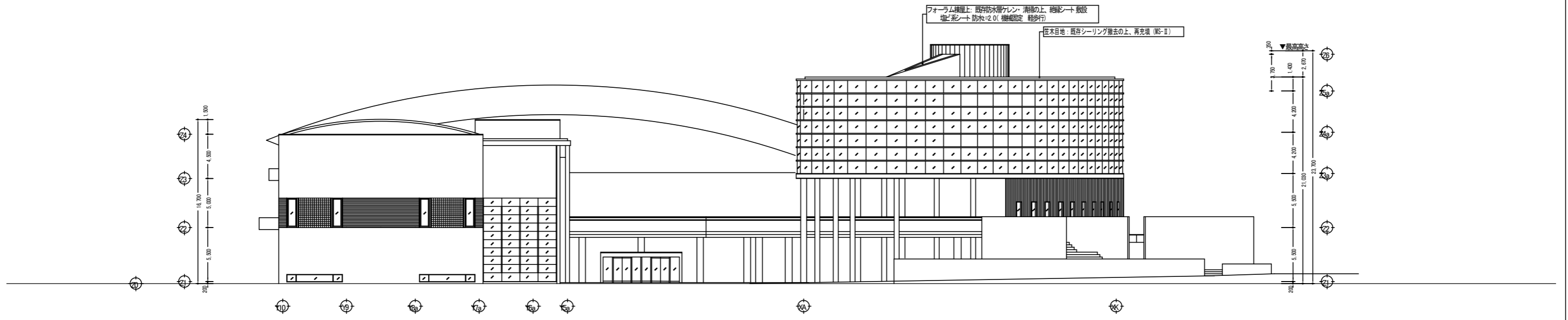
⑪ ルーフドレン: 既存積物ルーフドレン撤去の上、  
塩ビ製30mm径・レン取付(笠型100φ) 2カ所

市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記  
 既存アスファルト 防水層にアスベスト(アクチノライト)含有  
 [斜線] : 防水改修箇所を示す  
 [白] : 図外部分を示す

図面内容	縮尺 A1 1: 200 (A1) A3 1: 400 (A3)	業務番号 図面区分 A-10 枚の内 07
------	----------------------------------------------	-----------------------------------



南側立面図



東側立面図

市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

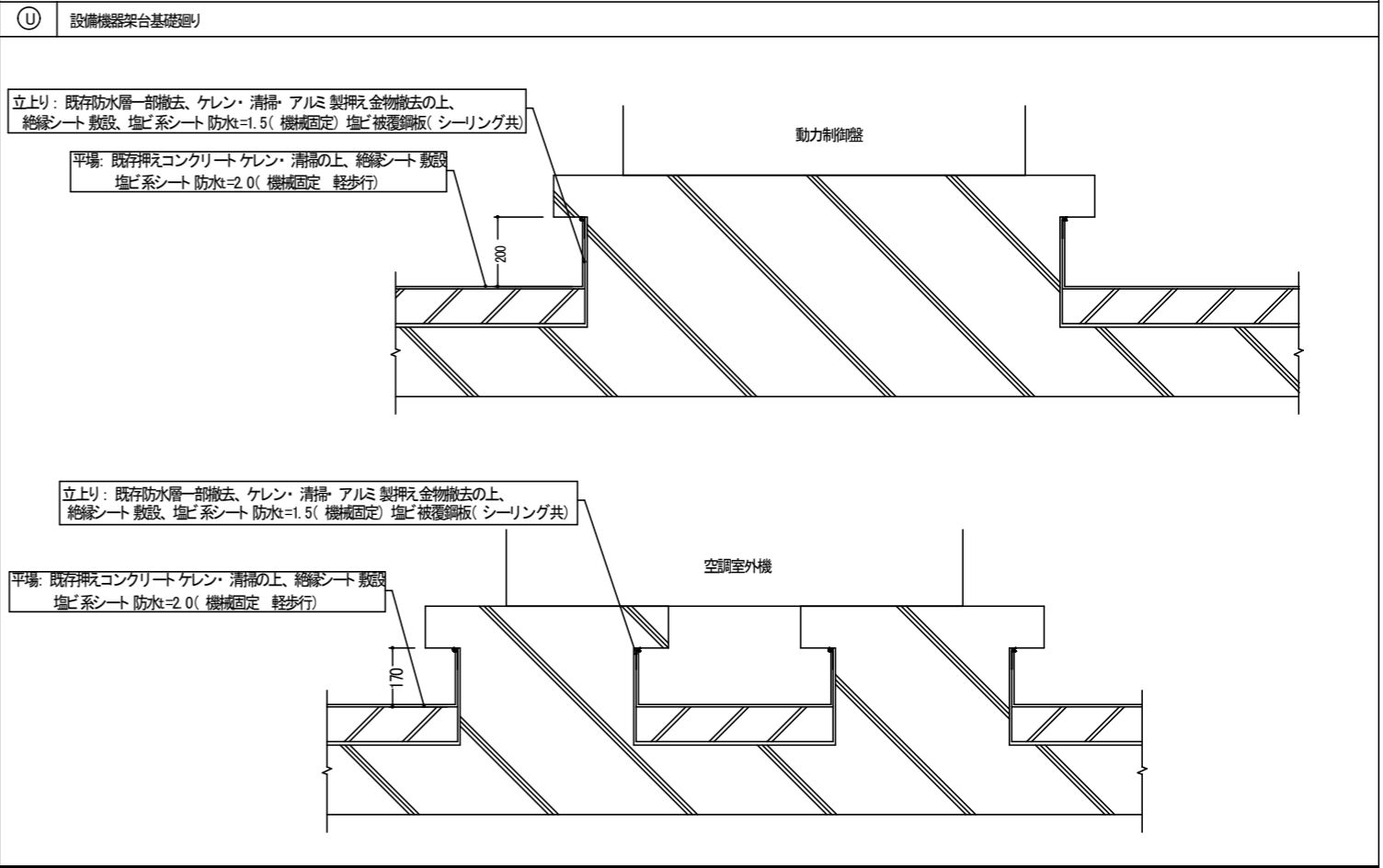
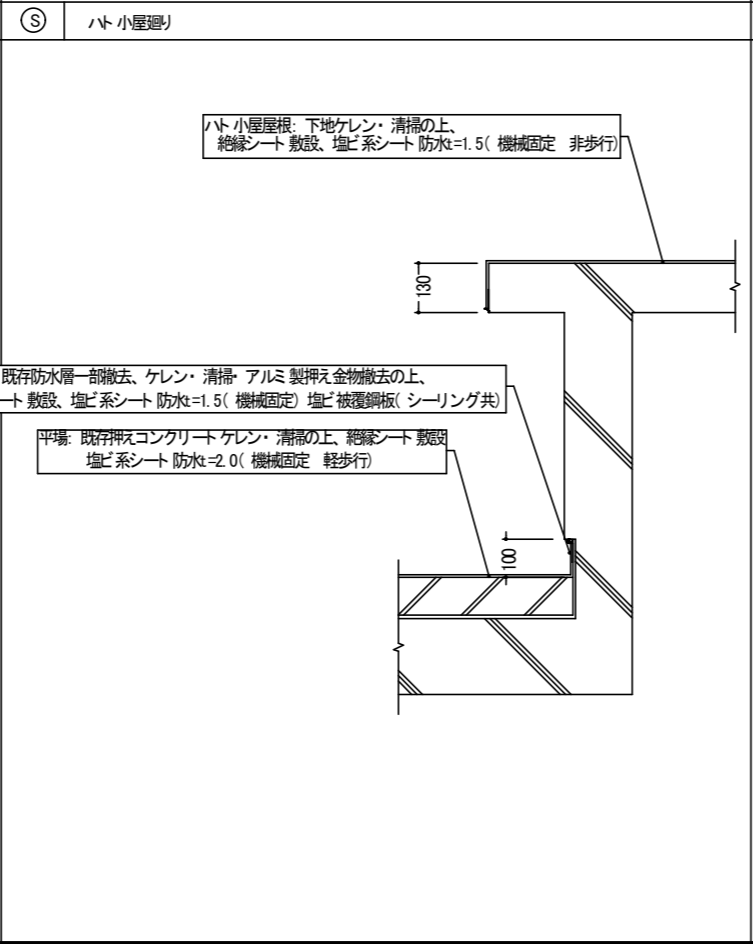
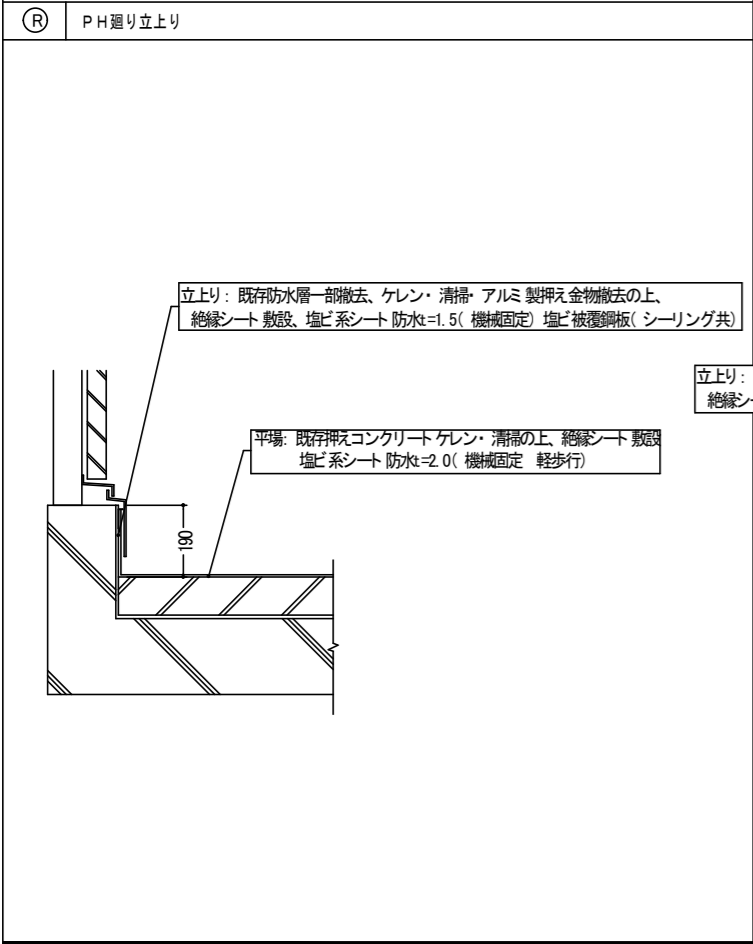
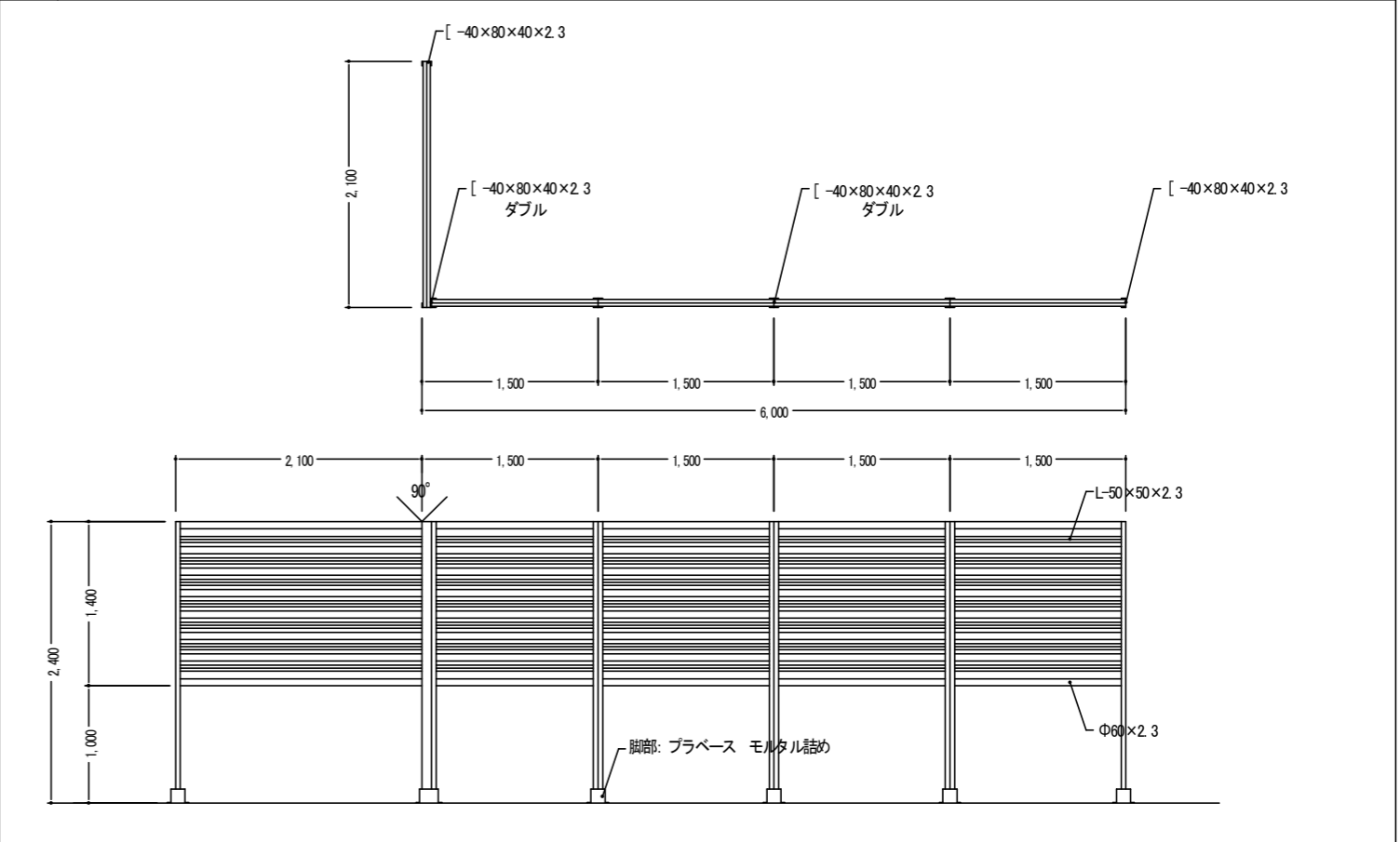
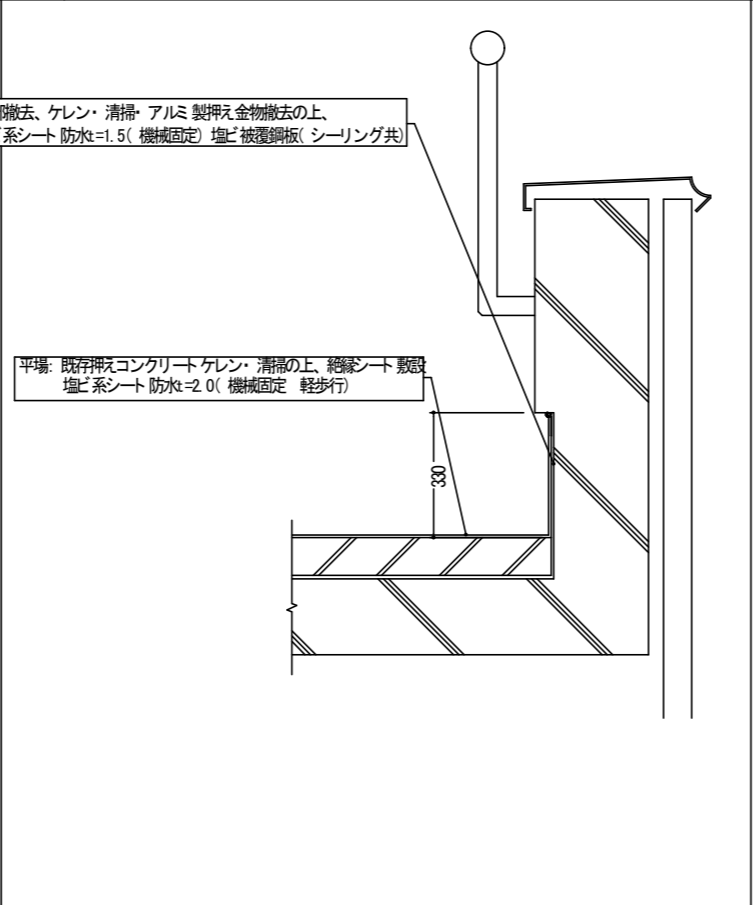
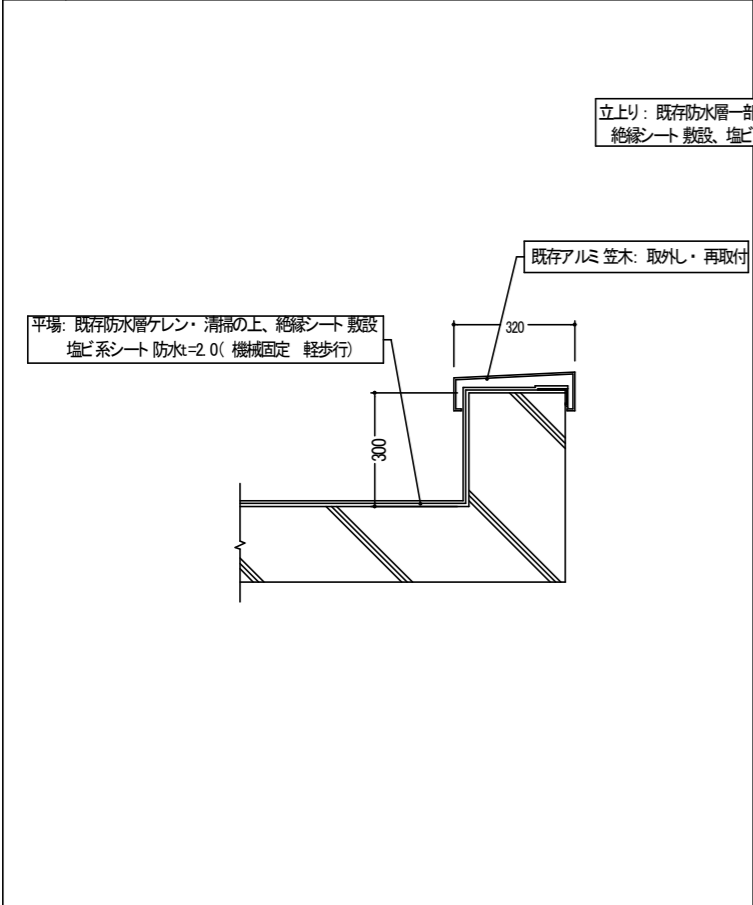
特記

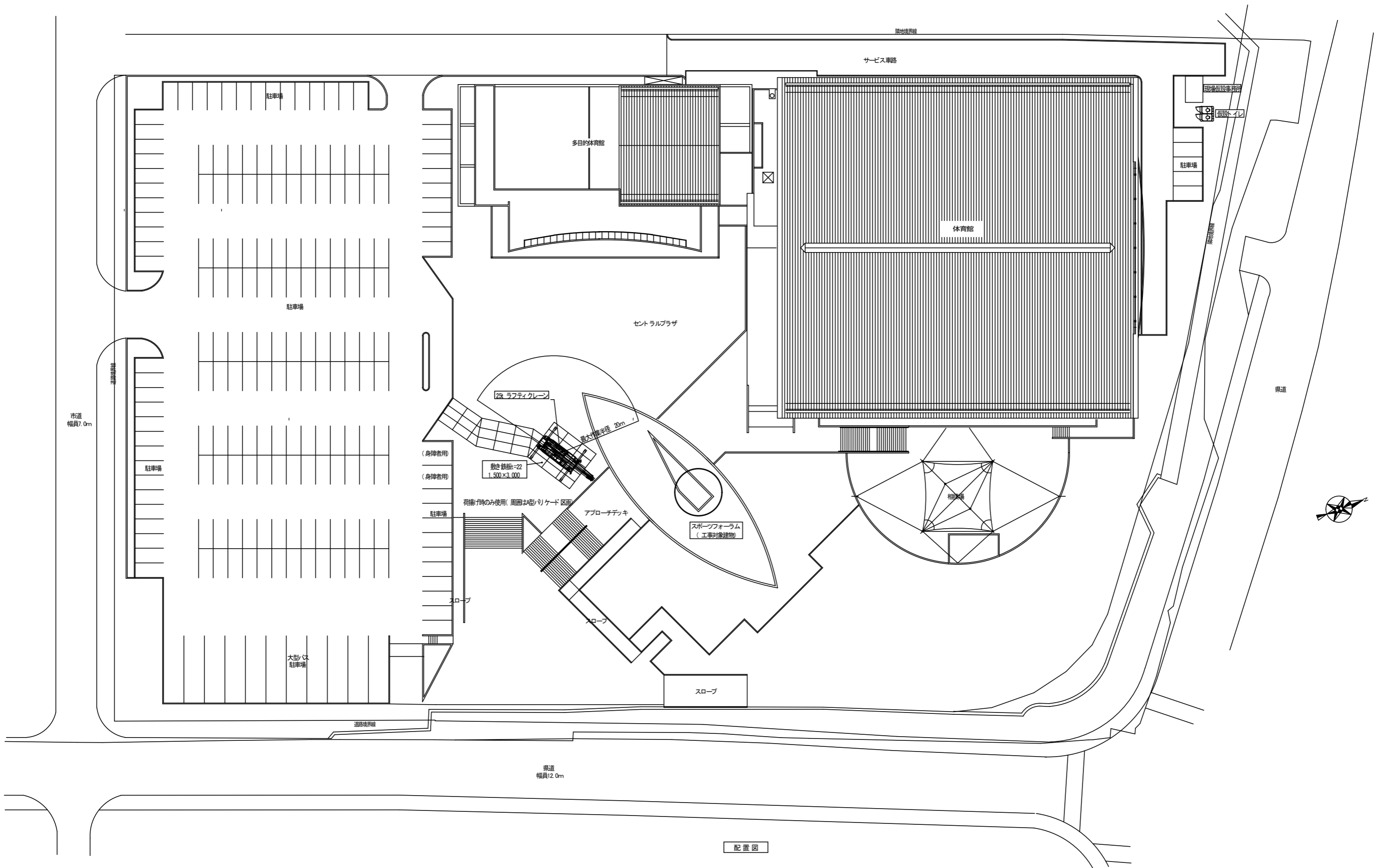
図面内容

南側・東側 立面図

縮尺  
A1  
1:200 (A1)  
1:400 (A3)

業務番号  
図面区分 建築意匠  
図面番号 A-10 枚の内 08





配置図

市民総合体育館フォーラム棟  
屋根改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記

図面内容  
仮設計画配置図  
(参考図)

縮尺 A1 1:300(A1) 1:600(A3)	業務番号 図面区分 図面番号 A-10	建築意匠 枚の内 10
------------------------------------	---------------------------	----------------